

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年7月22日（金） NO13 文責 木下 文秋

登り坂と下り坂と…

本日1学期の終業式を迎えることができました。今年リモートでの式となり、これに慣れてしまいましたが、全校生徒を体育館に入れて集会ができないことが残念です。式では2つのことを生徒にお願いをしました。一つは、夏休み期間中に何でもいから続けること。例えば、朝6時に起きる、花の水やりをする、風呂掃除をするなど。出来ればハードルが低いものだと思います。続けることで自分に自信がつきます。もう一つは命に関することです。昨年度の7月と8月の全国の水の事故は、451件でした。そのうち水におぼれた人は565名です。565名の内、死者・行方不明者は212名だそうです。水の事故で亡くなった人が212名もいるのです。河川での遊泳は禁止されています。また海の場合も遊泳禁止の場所があります。でも実際に死者・行方不明者は212名という数字になっています。平成28年には本校の生徒が河川での遊泳で亡くなっています。それでも、河川での遊泳は後を絶たしません。皆さんが知っているめがね橋は私が子供の頃から人気のスポットですが、長い歴史の中であそこで命を落としている人は数多くいると聞きます。川で泳ぐ人は「自分が溺れて死ぬかもしれない」とは思っていません。それでも河川では毎年多くの人亡くなっているのが現実です。世の中には登り坂と下り坂があります。登り坂はゆっくりと徐々に上っていく坂です。下り坂は緩やかにそろりそろりと下っていく坂です。しかし、もう一つ坂があるそうです。それは「まさか」です。まさかには「ゆっくりと徐々に」とか「緩やかにそろりそろり」という表現はありません。ただ真逆さまに落ちていくだけです。なすすべもありません。夏休みどうか「まさか」に引き込まれないように…。

コロナウイルスについて

7月に入り第7波となり、学校の欠席が急増して学校運営に支障をきたしました。苦肉の策で授業をカットするなどの措置を講じました。この夏休み期間中に感染状況がどのように推移していくのか予想が付きませんが、何らかの指示が出たら安心安全メールでお伝えしますのでご留意ください。皆さま、いい夏休みをお過ごしください。

